

機能保全計画書  
柳井漁港（第2種）

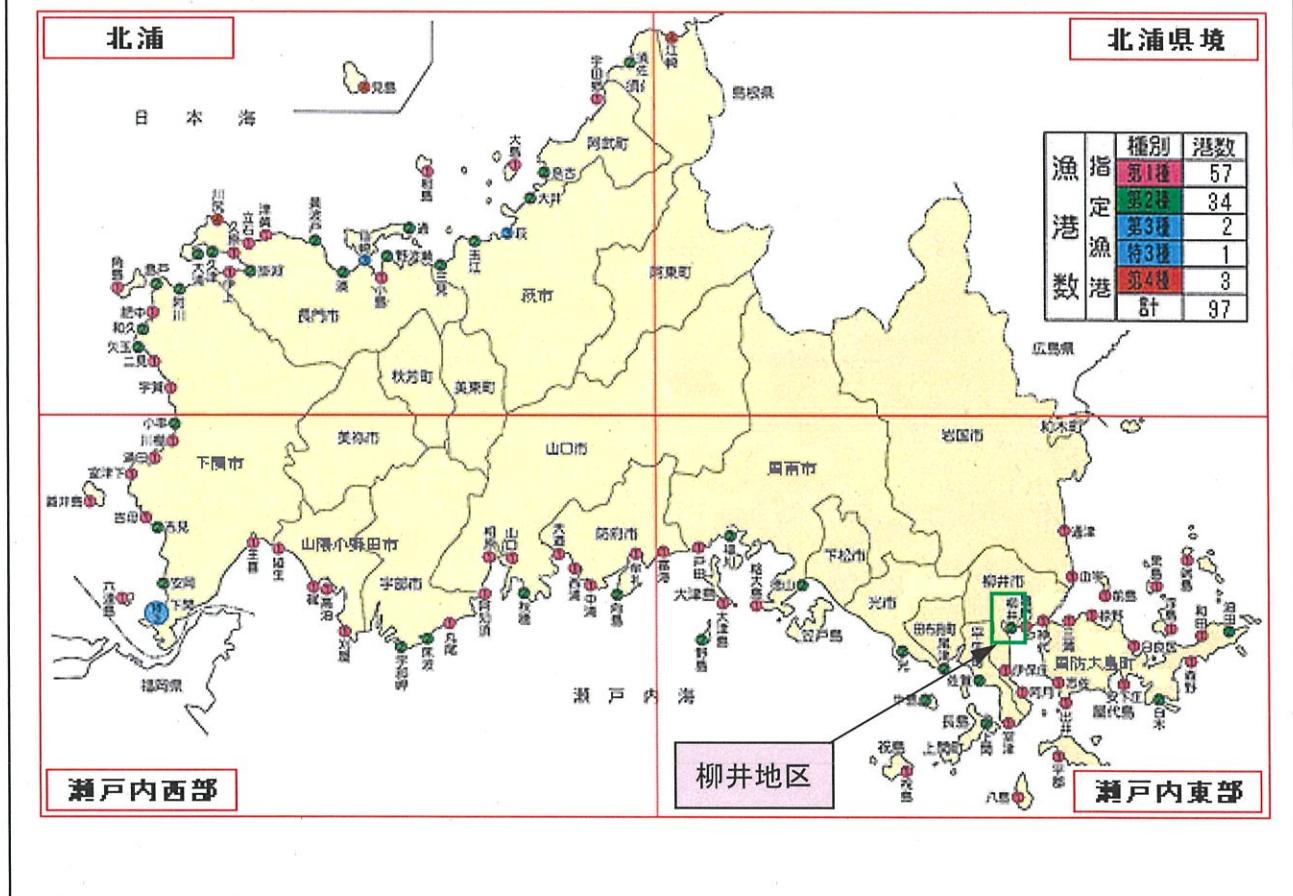
平成29年1月

漁港管理者：柳井市

## § 1. 漁港の概要

1 地区名 柳井地区

## 2 位置図等



### 3 対象漁港

柳井漁港（漁港番号3820035）

漁港種類	第 2 種	所管	本 土	漁港所在地	柳井市柳井
地域指定	半島振興、自然公園				
属地陸揚量	21 トン	属人陸揚量	21 トン	属地陸揚金額	17 百万円
登録漁船数	98 隻	利用漁船数	130 隻	利用遊漁船数	17 隻
主要な漁業種類	刺網漁業、採貝その他の漁業				
主な魚種	あじ類、かれい類、たちうお、たい類、いか類、たこ類				
地区の特徴	<p>柳井漁港は、山口県の瀬戸内海側東部に位置し、生物の多様性が高い天然の岩礁など良好な漁場に恵まれた柳井湾一体の沿岸漁業が主体であり、刺し網漁業やたこつぼ漁などが営まれている。</p> <p>柳井漁港のある柳井市のまちづくり総合計画では、「種苗の生産・放流や漁礁等の設置、海底清掃などを継続的に実施するとともに、漁港改修や漁業就業者確保、流通の効率化、水産物のブランド化を促進する」ことを基本方針とし、「つくり育てる漁業の展開」、「漁港施設等の整備」、「漁業経営の安定」などが施策の体系として掲げられている。</p>				
水産基盤の役割	<p>本地区では「獲る漁業」から「つくり、育てる漁業」への転換を図るために、水産資源の枯渇化の防止を目的とした稚魚の放流や魚礁の設置など資源管理型漁業への取組が進められている。</p> <p>また、当該漁港は、市街地内にあって、柳井港魚市場と柳井魚市場の2つの市場に近接しており利便性が高いことから、漁港利用者も特に多く、本市の拠点漁港として重要な役割を担っている。</p>				